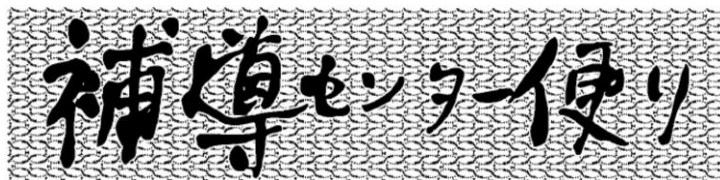


主な記事

- ・万引き防止連絡協議会
- ・第2回定例補導会議
- ・児童生徒等自立支援教室
- ・有害図書の回収



高知市塩田町 18-10
 保健福祉センター 2階
 高知市少年補導センター
 電話 088-824-6671
 FAX 088-824-6816
 E-mail kc-200900@city.kochi.lg.jp
 発行人 吉川 佳余

令和5年度 万引き防止連絡協議会

令和5年6月23日（金）に高知市保健福祉センターにおいて、「令和5年度万引き防止連絡協議会」を開催しました。会では、香川大学教育学部准教授 大久保智生氏を講師にお招きし、最新の万引きの現状と課題についてご講演いただきました。講演では、「防犯＝犯罪を未然に防ぐ」という観点から、①人より場所に注目②加害者目線で考える③巡回と声掛け④学校と家庭への注意喚起などのお話をさせていただきました。

①②③では、店舗等でのリスクマネジメントが必要で、店員への教育、陳列の工夫など、常に見直しをしていくことや、毅然とした対応をしたり、声掛けをしたりするなどの店舗等へのアドバイスをいただきました。④では、家庭での教育が必要であるとアドバイスいただきました。少年補導センターでは、出前授業として小・義務教育学校(前期)を中心に「万引き防止集会」や「万引き防止授業」を行い、未然防止活動に力を入れています。万が一、万引きをしてしまった際には、反省させるだけでなく、家族や教員などの謝っている姿を見せることが本人の後悔へつながることや、本人の悩みやストレス等のカウンセリングも必要に応じて対応してほしいということでした。

大久保氏のご講演をいただいた後、各事業所からの現状報告や協議を行いました。事業所からは、少年の万引き件数は減少傾向にあり、店舗や学校、少年補導センター等での取組の効果が出ているように感じる、とご意見をいただきました。

少年たちを見守ってくださる皆様には、今後とも声掛けをお願いします。事業所と地域、学校などが連携し防犯活動を行い、子供も大人も安心して暮らせるまちづくりを目指すことが大切です。少年補導センターも引き続き万引き防止に取り組んでいきます。

来年度より「万引き防止連絡協議会」から、「万引き防止 等 連絡協議会」という名称に変更することが決定いたしました。従来の万引き防止についての協議に加えて、少年らのい集等の迷惑行為等についても協議できるようにしていきたいと思っております。



第2回定例補導会議

同日開催しました、第2回定例補導会議では、中学校・高校・各関係機関での情報交換を行いました。非行の低年齢化やSNSでのトラブルが増えているため、学校と関係機関等のつながりや連携を密にしていくことや、早期発見・早期対応をしていくことを確認しました。少年補導センターといたしましても、学校と関係機関とのつなぎ役の一端を担い、日頃の街頭補導や非行防止教室などの取組によって、子供たちの非行を未然に防止する取組を続けていきます。

